

“運動器ってご存じですか？”

皆さん運動器という言葉が聞かれた事がありますか？運動器というのは、人体の組織で唯一自分の意志で動かす事のできる器官の事です。たとえば、筋肉、骨、関節、神経など、体を動かす器官の総称です。運動器が傷つくと、体が不自由になります。今までは、生命にかかわる事がないので、重要視されませんでした。しかし、高齢化社会になり、健やかに良い人生を過ごすためには、自分の運動器を有効に活用することが、たいへん重要なことであると感じてきました。リウマチや五十肩などの関節の病気、腰痛などのセキ椎の疾患や骨粗しょう症、若い人たちに多いスポーツ障害など、整形外科の分野の病気がほとんどです。WHO（世界保健機構）では、2001年～2010年を『運動器の10年』と定め、世界85の国、750の学会が協力してこの問題に取り組み、さまざまな研究がなされ、すべての人たちに自分たちの運動器の大切さを知ってもらいたいと活動しています。健やかに老い、楽しい人生を過ごすためには、常に自分の運動器の状態を知っておくべきです。元気であるために行なう運動も、やり過ぎたり、誤ったやり方をしたりすれば、故障の原因になるでしょう。

整形外科というのは、こういった運動器の障害に対する学問として、50年前から専門化して発展してきました。今回、『運動器の10年』の活動の一環として、『骨と関節の日』に市民公開講座を開催いたします。多数の皆様方が参加していただく事で運動器の大切さを理解してくださり、同時に整形外科の役割を知っていただくことができれば、幸いです。

平成15年9月
中村 英健